

クラブフォーラム 規定審議会 決定事項について

司会進行

牛島 聡クラブ奉仕委員長

今回の規定審議会でも、大きな変更がありました。各クラブからの異議申し立ては締め切れ、決定報告書がRIのHPでご覧頂けます。全ページ出力したものを受付に置いておきますので、お目通し下さい。

入会金、例会の回数など、クラブとして受け入れるか、皆様のご意見を伺い、10月の理事会へ諮るかどうかを検討します。皆様のご賛同を得られないとクラブ細則は変更できません。土居会員、ご説明をお願いします。

土居 岩生会員

<入会金について>

入会金という項目がなくなりました。賛助金または他の名目にするか、入会金自体を廃止するかです。

<人頭分担当金>

今までは1年に1ドルずつ値上げをしていましたが、2017-18年度からは4ドルずつ値上げになります。これはRIの投資損失が5,000,000ドル、財団も同じぐらいの損失があるからです。世界の5%のクラブから反対意見が出た場合は、一時保留されます。そして、RI理事会に諮った後、再度、世界全クラブに賛否を問うこととなります。人頭分担当金を納めなければ、RIから退会となります。

<例会の回数への対応>

細則では週1回の出席と謳っていますが、月最低2回以上で採択されました。しかし、例会とはなにか…、例会によって親睦が生まれるのは確かであるが、その機会を減らすことについてどう思うか、などを議論して頂きたいと思います。祝日のある週は例会を休んでも良いことになりました。祝日が年間16日あり、各クラブの裁量で年4回休会できますので、月2回の例会を取り入れてしまうと、月1回以下の例会になってしまいます。例会費を安くすることを理由に取り入れているクラブもありますが、ロータリーとは何か、原点に戻って議論して頂きたいと思ひますし、お茶の水の理事会でも議論して頂き、会員が意識を持つことが必要かと思ひます。

<奉仕の第2部門 職業奉仕の改正>

例えば、弁護士が法律相談をすると、今までは社会奉仕でしたが、職業奉仕になります。奉仕の理念(旧称 奉仕の理想)は他人を思いやり、尽くすのが原点でありますので、本当は職業奉仕を五大奉仕に入れるべきではないと思ひます。細則の変更により、今まで社会奉仕としてきた一部が職業奉仕に取り入れることとなります。

<会員身分の柔軟性を認める>

ロータリーの金看板は「職業奉仕」でしたが、定職がなくても、本人に気持ちがあれば誰でも入会できることとなります。

小田 孝志会長

例会を少なくとも2回行うことについてですが、今まで通りが良いと思ひます。人頭分担当金もクラブから意見を出す必要がないと思ひます。入会金について、従来通りが良いと思ひます。私は変更する意思はありません。

俣野 幸昭会員

人頭分担当金の件ですが、是非、地区あるいは日本全体で声をあげていただきたいと思ひます。実は大阪で世界大会が開催された時に、私も地区青少年交換業務で、1週間行っていました。その時のRI職員のだらしなさ、人数の多さに驚きました。RI事務局を簡素化して頂

きたい。ましてや奉仕団体の上部組織役員が5,000万円の年収は言語道断だと思います。

八木 壮一会員

俣野会員が発言していたようなことであれば、人頭分担当金は増額しなくて良いのではないかと思います。例会の回数も今まで通りが良いと思ひます。

松島 健会員

うちのクラブの今の大きな課題は会員増強だと思ひますが、入りやすいクラブにするためには、と考えるのと、入会金、人頭分担当金のことを考えるのが基本だと思ひます。

佐々木 啓策会員

RIは、資金集めの団体になっている印象を受けます。ロータリーの組織は肥満体になり、無駄が多くなっていることは想像できます。しかし、私たちがすることは、会員を増やすことであり、入会金がなくてもクラブが運営できるのであれば、入会金を無くすることも手だと思います。週に何回例会を行うかということですが、週に4回例会をしましょうという意見が出るクラブになってほしいですね。

大原 正道会員

人頭分担当金はなるべく少ない方が良いし、クラブ会費は、例会場の費用もあり、現在ギリギリの状態です。例会の回数は月4回ですが、若い方に入会して頂くと思うと週1回は難しいので、例えば、月3回にする、2週間に1回にする、夜間例会と交互に行うなど。そして、例会は月4回の例会の時は4回出席すればパーフェクトですが、2回出席すれば良いとするのも面白いのではないかと考えました。

松浦 吉晃会員

例えば、財団や米山は寄付で賄っていますが、それと同様に、ワールドニコニコボックスなどで寄付を集めるということは考えはないでしょうか。

土居 岩生会員

人頭分担当金というのは、RIの維持管理のためです。米山や財団は個人の意思による寄付なので、主旨が違います。会員増強のために、地区に対策を要望したり、会費を安く、例会を少なくなど試みてきましたが、効果はないです。ロータリーで自分自身が成長していくことを考えれば、勧誘しようという気持ちになります。増強できないのを制度のせいにしてしまうのが実態です。2580地区では1年で20名増強達成したクラブもあります。

牛島 聡委員長

細則に関わることなので、決めなければなりません。今後、理事会にかけ、それから皆様のご意見も伺って、細則を決めるという段取りになります。

閉会点鐘

小田 孝志会長

ニコニコいいね!

8月24日 土居 岩生会員のニコニコ
「平山先生、お暑い中、卓話有難うございます。」

雑誌会報委員会 山下 憲男委員

平山 洋二氏は平山胃腸クリニック院長・東京新宿RCの会員です。「お茶の水は土居さんのクラブなので、外来患者の診療時間を一部変更して、駆けつけました。」と話されていました。卓話の内容は「内視鏡の進歩」と発達の過程を詳しく説明され、日常の健康管理に役立つ大切な話でした。